

平成26年7月期（平成26年1月17日～平成26年7月16日）決算短信

平成26年8月25日

ファンド名 MAXISトピックスリスクコントロール（10％）上場投 上場取引所 東証
 信
 コード番号 1574
 連動対象指標 TOPIXリスクコントロール指数（ボラティリティ1
 0％）
 主要投資資産 投資信託証券
 売買単位 10口
 管理会社 三菱UFJ投信株式会社 URL <http://www.am.mufg.jp/>
 代表者名 取締役社長 金上 孝
 問合せ先責任者 商品ディスクロージャー部長 井上 靖 TEL (03)6250-4910

有価証券報告書提出予定日 平成26年10月15日
 分配金支払開始予定日 平成26年8月22日

I ファンドの運用状況

1. 平成26年7月期の運用状況（平成26年1月17日～平成26年7月16日）

(1) 資産内訳

（百万円未満切捨て）

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 （負債控除後）		合計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成26年7月期	680	(100.2)	△1	(△0.2)	679	(100.0)
平成26年1月期	966	(99.9)	—	(0.1)	967	(100.0)

(2) 設定・解約実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	解約口数(③)	当計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
平成26年7月期	700	—	200	500
平成26年1月期	700	—	—	700

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	100口当たり基準価額 (③/当計算期間末発行済口数)×100
	百万円	百万円	百万円	円
平成26年7月期	682	3	679	135,833
平成26年1月期	969	2	967	138,166

(4) 分配金

	10口当たり分配金
	円
平成26年7月期	49
平成26年1月期	15

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

II 財務諸表等

【MAXISトピックスリスクコントロール（10%）上場投信】

(1) 【貸借対照表】

	第3期	第4期
	[平成26年1月16日現在]	[平成26年7月16日現在]
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	3,202,797	2,361,626
投資信託受益証券	966,368,642	680,314,543
未収利息	5	3
流動資産合計	969,571,444	682,676,172
資産合計	969,571,444	682,676,172
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	1,050,000	2,450,000
未払受託者報酬	148,369	110,434
未払委託者報酬	890,167	662,521
その他未払費用	317,987	287,824
流動負債合計	2,406,523	3,510,779
負債合計	2,406,523	3,510,779
純資産の部		
元本等		
元本 ※1	700,000,000	500,000,000
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金(△)	267,164,921	179,165,393
(分配準備積立金)	(52,095)	(22,736)
元本等合計	967,164,921	679,165,393
純資産合計	967,164,921	679,165,393
負債純資産合計	969,571,444	682,676,172

(2) 【損益及び剰余金計算書】

	第3期	第4期
	自平成25年7月17日 至平成26年1月16日	自平成26年1月17日 至平成26年7月16日
	金額(円)	金額(円)
営業収益		
受取配当金	2,440,304	3,485,714
受取利息	743	495
有価証券売買等損益	36,342,769	△28,390,169
営業収益合計	38,783,816	△24,903,960
営業費用		
受託者報酬	148,369	110,434
委託者報酬	890,167	662,521
その他費用 ※1	322,167	292,613
営業費用合計	1,360,703	1,065,568
営業利益	37,423,113	△25,969,528
経常利益	37,423,113	△25,969,528
当期純利益	37,423,113	△25,969,528
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	—	—
期首剰余金又は期首欠損金(△)	230,791,808	267,164,921
剰余金減少額又は欠損金増加額	—	59,580,000
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	—	59,580,000
分配金 ※2	1,050,000	2,450,000
期末剰余金又は期末欠損金(△)	267,164,921	179,165,393

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券は移動平均法に基づき、時価で評価しております。時価評価にあつては、基準価額で評価しております。
-------------------	---

(貸借対照表に関する注記)

	第3期 [平成26年1月16日現在]	第4期 [平成26年7月16日現在]
※1 期首元本額	700,000,000円	700,000,000円
期中追加設定元本額	—	—
期中一部解約元本額	—	200,000,000円
2 受益権の総数	700,000口	500,000口
3 1口当たり純資産額 (100口当たり純資産額)	1,381.66円 (138,166円)	1,358.33円 (135,833円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第3期（自平成25年7月17日 至 平成26年1月16日）

※1 その他費用
上場費用および商標使用料等を含んでおります。

※2 分配金の計算過程

当期配当等収益額	A	2,441,047円
分配準備積立金額	B	21,751円
配当等収益合計額	C=A+B	2,462,798円
経費	D	1,360,703円
当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	1,102,095円
収益分配金金額	F	1,050,000円
次期繰越金（分配準備積立金）	G=E-F	52,095円
当ファンドの期末残存口数	H	700,000口
100口当たり分配金額	I=F/H*100	150円

第4期（自平成26年1月17日 至 平成26年7月16日）

※1 その他費用
上場費用および商標使用料等を含んでおります。

※2 分配金の計算過程

当期配当等収益額	A	3,486,209円
分配準備積立金額	B	52,095円
配当等収益合計額	C=A+B	3,538,304円
経費	D	1,065,568円
当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	2,472,736円
収益分配金金額	F	2,450,000円
次期繰越金（分配準備積立金）	G=E-F	22,736円
当ファンドの期末残存口数	H	500,000口
100口当たり分配金額	I=F/H*100	490円

(金融商品に関する注記)

1 金融商品の状況に関する事項

区分	第3期 (自平成25年7月17日 至平成26年1月16日)	第4期 (自平成26年1月17日 至平成26年7月16日)
1 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同 左
2 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 投資信託受益証券は、運用の効率化を図るために、株価指数先物取引を利用してしております。当該デリバティブ取引は、価格変動リスク等の市場リスクおよび信用リスク等を有しております。	同 左 同 左

区 分	第 3 期 (自平成25年7月17日 至平成26年1月16日)	第 4 期 (自平成26年1月17日 至平成26年7月16日)
3 金融商品に係るリスク 管理体制	また、投資信託受益証券に係るデリバティブ取引の時価等に関する事項についての契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額または計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。	同 左
	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。	同 左

2. 金融商品の時価等に関する事項

区 分	第 3 期 [平成26年1月16日現在]	第 4 期 [平成26年7月16日現在]
1 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同 左
2 時価の算定方法	売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。	同 左
	デリバティブ取引は、該当事項はありません。 上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	同 左 同 左
3 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同 左

(有価証券関係に関する注記)

売買目的有価証券

種 類	第 3 期 [平成26年1月16日現在]	第 4 期 [平成26年7月16日現在]
	当計算期間の損益に含まれた評価差額(円)	
投資信託受益証券	36,335,856	△11,654,845
合計	36,335,856	△11,654,845

(デリバティブ取引等関係に関する注記)

取引の時価等に関する事項
該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。